

09

えんたいごう 掩体壕跡地 97式戦闘機

鹿児島県南九州市(旧知覧町)、知覧特攻記念会館から車で5分程でたどり着く、茶畠の中にひっそりとある掩体壕跡地。その場所に突如として現れる97式戦闘機。

全長7.53m 全幅11.31m 全高3.28m 実物大の1/1スケール。巨大なプラモデルみたいなものです。制作するにあたり市役所は勿論のこと知覧特攻記念会館、福岡県にある大刀洗平和記念会館の方々から貴重な資料、写真をお借りして忠実に再現させてもらうことになりました。

工場内で構造体となる骨組みを製作、同時に発泡スチロールで各部位の型(尾翼、タイヤカバー、エンジン、プロペラ、ピトー管等)を製作。FRPは2.1mm程度の厚さで成型しウレタン樹脂塗料にて塗装しました。ダメージ加工のエイジング塗装も検討しましたが、あえてせず製造されたままになりました。製作期間約90日。完成後は工場内でなんと、サンダーで胴体と主翼を切断!!。それは現場に搬入する際に主翼が トラックからはみ出す為なんです。運搬はトラック3台で連なり不思議な光景だったと思います。

現場ではクレーンを使い施工し、主翼と胴体を下地鉄骨のフランジ部分をボルト、ナットで繋ぎ、FRP部分も再度繋ぎ合わせ塗装をしました。主翼は万が一、人が乗っても折れないようにステンレスのパイプで補強をしました。最後にプロペラやアンテナ空中線、ガイシ等細かな部品を取り付け完成となりました。*飛びません。



発泡スチロールで原型を制作する様子。



現場搬入時の様子。見せ場のプロペラとエンジン、左翼についているのはピトー管、速度を測る機器です。鉄筋を曲げFRPで巻き仕上げました。

材質<サイズ:H3280×W11310×L7530>
本体:鋼材(溶融亜鉛メッキ処理)
ステンレス(磨き仕上)
ガラス繊維強化プラスチック
(ウレタン樹脂塗装仕上)
発注元:南九州市役所
設計、施工:(株)サイト
設置場所:鹿児島県南九州市

サイト担当者
デザイン・設計:奥、浦崎
営業:山本
設計金額(材のみ)
97式戦闘機:¥15,000,000-



掩体壕とは、この字型に土塁を築き近くに爆弾が投下されても被弾を防ぎ戦闘機を守る施設のこと。

...continued

...continued